TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/
信仰から繁栄へ コロサイ人への基本事項 完全であることを示す
コロサイの信徒への手紙１章 24－29 節
2024 年 6 月 29 日 & 30 日
ジェシー・セザリオ 牧師

ご挨拶

礼拝に参加してくださっている皆さん、こんにちは。TBC ウエスト トウキョウ、TBC 三郷、福岡インターナショナルチャーチ、スバとトンガのバプテストチャーチの皆さんにもご挨拶いたします。今日、皆さんに恵みがありますように。

祈りましょう

コロサイの信徒への手紙 1 章 24 節－29 節です。

「24 今私は、あなたがたのために喜んで苦しみを受けており、キリストの体である教会のために、キリストの苦難の欠けたところを、身をもって満たしています。25 私は、自分に与えられた神の計画に従って、教会に仕える者となりました。あなたがたに神の言葉を余すところなく伝えるためです。26 永遠の昔から幾世代にもわたって隠されてきた秘義が、今や、神の聖なる者たちに明らかにされたのです。27 神は彼らに、この秘義が異邦人の間でどれほど栄光に満ちたものであるかを知らせようとされました。この秘義とは、あなたがたの内におられるキリスト、すなわち栄光の希望です。28 このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。それは、すべての人を、キリストにある完全な者として立たせるためです。29 このために、私は労苦し、私の内に力強く働くキリストの力によって闘っているのです。」

初めに

今日の箇所では、沢山のことが書かれているので、すべてを一つにまとめようとすると混乱するかもしれません。ペテロは、パウロの文章は理解しにくいと言いましたが、それは愛をもって真実を語っていました。そうです！私には多くの疑問がありました。ということは、今日はいくつかの答えを出す必要があります。

今日の箇所のキーワードに焦点を当て、1つずつ質問に答えていきたいと思います。私が焦点を当てていくのは、欠けたところ、教会に仕える者、秘義、完全、この 4 つの言葉についてです。

欠けたところ

「24 今私は、あなたがたのために喜んで苦しみを受けており、キリストの体である教会のために、キリストの苦難の欠けたところを、身をもって満たしています。」

この「欠けたところ」という言葉は、とても気になる言葉です。なぜなら、これはイエスに関する文脈の中で使われているからです。イエスに何が欠けていたのでしょうか？何世紀もの間、神学者たちはこの難題に悩まされてきました。

まず、キリストや、キリストが十字架上で死ぬまでに経験した苦しみの中には、欠けているものは何もありません。聖書は、イエスは私たちの罪のためのなだめのささげもの（または喜んでささげるもの）であり、それは私たちだけのためではなく、世界の全ての人のためであると言っています。イエスは、「成し遂げられた」と言いました。これはすべての人に対するもので、疑う余地がありません。

そしてパウロもまた、イエスの偉大さとその主権について述べた後では特に、キリストの欠けたところがあるとは考えては

いません。そして、次の章の14節では、神がどのようにして私たちのすべての罪を赦し、私たちに不利な借用書を破棄し、これを十字架に釘付けにしてくださった、と語っています。
だから、キリストに欠けているものは何もないし、パウロがキリストに何か欠けているものがあると考えているわけでも、パウロが自分自身がイエスの贖いの業を代わってするべきだと考えているはずはありません。
この聖句において話題となっていることは、2つだけです。キリストの苦難と教会です。つまり、欠けているのはイエスの側ではなく、むしろ教会の側であると断言できます。そして、教会はパウロの働きによって満たされていくのです。
では、パウロは何を成し遂げようとしているのでしょうか。

教会に仕える者

「25 私は、自分に与えられた神の計画に従って、教会に仕える者となりました。あなたがたに神の言葉を余すところなく伝えるためです。」

パウロは自らを教会に仕える者と言っています。ギリシャ語でこの言葉は、「diakonos」ディアコノスと言い、奉仕者を意味します。
実際、この箇所を読むと、それが自分の意志によるものではなかったことが感じられます。神の計画に従って、教会に仕える者となったのです。

この違いは重要でした。イエスがエルサレムにおられた時、十二使徒と一緒にいなかったのにも関わらず、なぜパウロが使徒とみなされるのか、皆さんも不思議に思ったことはないでしょうか。
このテキストから私たちが読み取ることができるのは、主を見たことがあるかが使徒となる条件の一つであるということです。パウロはⅠコリントの信徒の手紙の中で、このことを暗に示しています。パウロは9章1節でこう尋ねています。「私は自由な者ではないか。使徒ではないか。私たちの主イエスを見たではないか。主にあるあなたがたは、私の働きの実ではないか。」
そして、この手紙の後半で、彼は「そして最後に、月足らずで生まれたような私にまで現れました。私は、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中では最も小さな者であり、使徒と呼ばれる値打ちのない者です。」と言っています（15章8-9節）。
なぜ教会に仕える者としてのパウロの召命が重要なのでしょうか。

説明

説教者であるJDグリアー兄の説明を拝借しましょう。この箇所にとてもぴったりですが、彼とは少し違った形で、私が気づいたことに重きを置いてみようと思います。
こんな話です。

ある日の午後、年老いたおじいさんが孫と一緒に田舎の家のポーチに座っていました。ポーチの下には10頭ほどの狩猟犬がいて、涼んでいました。
すると突然、ふいに犬の一匹が顔を上げ、昼寝から覚めて吠えて走り出し、野原を横切りました。他の犬たちも次々と目を覚まし、吠えながら、最初の犬に続いて野原に走り出しました。
おじいさんは孫を見て言いました。「坊や、これから起こることを教えてやろう。あと10分もすれば、10匹の犬が一匹ずつ戻ってくる。しっぽを股に挟み、舌を出し、

疲れて息を切らして… 一匹一匹が戻ってきて、ポーチの下で定位置につき、すぐに眠りにつく。
そして30分後には、最初の犬がウサギをくわえて戻ってくる」。
彼は続けました。「最初の犬と、あきらめて疲れ果てて戻ってきた9匹の犬との違いを知りたいかい？」
「違いは、最初の一匹しか実際にウサギを見ていないということだ」
パウロはダマスコへ行く道でイエスを見ました。イエスの臨在を体験し、それが彼の人生を根本的に変えました。パウロが語るところによれば、それはパウロ自身が決めたことではありません。キリストとの出会いは、彼自身が決めたことではありませんでした。パウロの教会に仕える者としての召命はこのようなものでした。なぜなら、現実から逃れることはできないのですから。このことによりパウロは使徒になりました。

おそらく、復活したキリストを見ることで、使徒たちのモチベーションに欠けていたものが満たされたのでしょう。

復活した主を見ることの重要性について考えてみましょう。神に不可能はありませんが、キリストが本当によみがえったとしても、使徒たち、特にパウロに現れなかったとしたら、私たちが今日ここに集うことはなかったのではないかと私は思います。
しかし、私たちは他の9匹の犬のようであるということこそが、私たちが直面していることなのです。私たちは突然屈服し、疲れ果て、信仰をやめて眠りたいと思ってしまうのです。

あなたはどうでしょうか？奉仕で疲れ果ててしまっていませんか？
イエスは、ヨハネによる福音書20章29節で「見ないで信じる人は、幸いである。」と言っています。
私たちのことです！
イエスは私たちの葛藤を理解していました。

しかし、私たちは、キリストの御前で、疲れ果てた、死んだような信仰のクリスチャンでいたいわけではありません。パウロはそれを望まず、彼らが完全な形になることを望んでいます。どの牧師も、どの教会でも、そのようなことは望んでいないと思います。私もそのようなことは望んでいません。そうなるべきではありません。

しかし問題は、私たちの多くが疲れ果ててしまっているということです！
では、どうしてそうなってしまうのでしょうか？私たちがキリストにあって有しているものに注目してください。

「私たちを強くしてくださるキリストによって、私たちはすべてのことができるのです」

フィリピの信徒への手紙4章13節

私たちにはこの聖句がありますが、何かが欠けています。ちょっと不思議な感じがしませんか？何が欠けているのでしょうか？

パウロは次の箇所で、このように言っています。

秘義
「26 永遠の昔から幾世代にもわたって隠されてきた秘義が…」

これで説明がつきます。私たちが力に欠けていることへの答えは、秘義なのです。しかし、パウロによれば、もう秘義ではありません。なぜなら彼はこう言っているからです。

「今や、神の聖なる者たちに〈秘義〉が明らかにされたのです。27 神は彼らに、この秘義が異邦人の間でどれほど栄光に満ちたものであるかを知らせようとされました。この秘義とは、あなたがたの内におられるキリスト、すなわち栄光の希望です。」

また、パウロはこのことが私たちの生活の中でどのように実現されるべきかも教えています。
私たちはどのようにして、この神秘的な御霊の力を得ることができるのでしょうか？
それは実は、あなたが考えているよりも簡単なことなのです。これをするならば、他に何もする必要がありません。

その答えは、祈りのパートナーが必要だということです。
なんですって？そうです、聞こえたでしょう。ミニストリーの中で、あなたを支えてくれる誰か、またはグループが必要なのです。

あなた方はキリストの体の一部であるとパウロは言っています。これが秘義なのです。

片手に何かを持っていて、その重さに耐えられなくなったらどうしますか？もう片方の手に持ち替えますよね？その手で持てなくなったら、肩に掛けますよね。もう持てなくなったら、友だちに手伝ってもらいます。

サタンは、あなたをプライドの中で孤立させようとしています。ミニストリーを喜びとしたいのであれば、サタンの働きを止める必要があります。サタンは孤立を好みますが、神は家族を愛し、互いに助け合うように命じておられます。祈りは力強く効果的なものですが、二人以上で祈るなら、祈りの力と効果をさらに高めることができます。

マタイによる福音書 18 章 19－20 節
「また、よく言っておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を合わせるなら、天におられる私の父はそれをかなえてくださる。二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである。」

ミニストリーに携わると、あなたは霊的な戦いの深い溝の中に入ることになります。そして、疲労、孤独、混乱と苦難に直面し、最終的には燃え尽きてしまでしょう。パウロが正にこれらの問題に対してどのように対処し、エフェソの教会に仕える者たちを助けるために何をしたかを見ていきましょう。

エフェソの信徒への手紙 3 章 14-21 節
「14、15 このようなわけで、私は、天と地にあって家族と呼ばれているあらゆるものの源である御父の前に、膝をかがめて祈ります。16 どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように（疲れ）。17 あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださいますように（孤独）。あなたがたが愛に根ざし、愛に基づく者となることによって（混乱と困難）、18 すべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどのものか

を悟り、19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができ、神の満ち溢れるものすべてに向かって満たされますように（諦めないこと）。

20 私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、21 教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように、アーメン。」

ミニストリーに参加しているなら、祈りのパートナーが必要です。
あなたには祈りのパートナーがいますか？その人と連絡を取っていますか？祈りのパートナーを探してみましょう。自分のプライドを捨てましょう。
これがパウロの言わんとしていることです。パウロは、祈りには力があり、ミニストリーには祈りが必要であることを知っています。
パウロもそうしていました。パウロには祈りのパートナーがいたのです！このように書かれています。「このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。」　彼の働きはチームで努力してなされたのです。
あなただけがパートナーを持つのではなく、東京バプテスト教会が全体として、祈る教会になる必要があるのです。お互いに祈り、お互いに支え合いましょう。そうするように、注意していなさいと言われています。
「どのような時にも、霊によって祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。」
エフェソの信徒への手紙 6 章 18 節

聖なる者のために、つまり教会のために祈っていますか？もしかしたら、自分の教会や自分が参加していないミニストリーのためにあなたが祈る必要があるということを知らなかった人もおられるかもしれません。しかし、祈ってください！

適用
私は、祈るためにどうすれば良いか、少しアドバイスさせてください。
TBC Life（ニュースレター）をただの広告として見るのではなく、あなたの祈りの課題として見て欲しいのです。参加するつもりがなくても、そのために祈ることができます。
毎週何が行われているか全て確認することもできます。読んで祈るのに 5 分もかからないでしょう。歯を磨くのと同じくらいの時間です。もし時間がなければ、本当に歯を磨きながらでもできます。
スモールグループのリーダーの皆さん、グループで TBC Life について話していますか？祈れますか？
フェローシップ・リーダーの皆さん、そこで TBC Life について話していますか？祈れますか？
「最も大切な戒めと大宣教命令に対する大いなる献身が、偉大なる教会を成長させる」と聞いたことがあるでしょう。
しかし、祈りなしには私たちは大いなる教会にはなれないのです。
ミニストリーにおいて祈りがなければ、あなたはじきに疲れを感じるでしょう。孤独を感じ、混乱し、苛立ち、やがて燃え尽きていくでしょう。
祈りを優先しましょう。そして、祈りのパートナーを見つけてください。見つけることができないならば、私からのアドバイスは、神が与えてくださるように祈ってください。神の御言葉によれば、神はそうすることを望んでおられます。

ところで、他の人の祈りがどのように繋がって、完全となっていくのか分からないと思いながら聞いておられる方もいるかもしれません。
コロサイの信徒への手紙 4 章 12 節を見てみましょう。
「あなたがたの一人、キリスト・イエスの僕エパフラスが、あなたがたによろしくと言っています。彼は、あなたがたが完全な者となり、神の御心をことごとく確信しているようにと、いつもあなたがたのために熱心に祈っています。」

完全
コロサイ1:27 「神は彼らに、この秘義が異邦人の間でどれほど栄光に満ちたものであるかを知らせようとされました。この秘義とは、あなたがたの内におられるキリスト、すなわち栄光の希望です。28 このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。それは、すべての人を、キリストにある完全な者として立たせるためです。29 このために、私は労苦し、私の内に力強く働くキリストの力によって闘っているのです。」

少し時間を取って、この秘義と完全との関係をより深く理解するために、不完全であるとはどのようなことか、またその行きつく所を考えてみましょう。
イエスがマタイによる福音書 7 章 21 節で教えていることは、このことを示す最高の例です。
「21 私に向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。天におられる私の父の御心を行う者が入るのである。22 その日には、大勢の者が私に、『主よ、主よ、私たちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をたくさん行ったではありませんか』と言うであろう。23 その時、私は彼らにこう宣告しよう。『あなたがたのことは全然知らない。不法を働く者ども、私から離れ去れ。』」

彼らが行ってきた素晴らしいことに注目してください。でも、まだ不完全であるのです。キリストがマタイ 7 章 21 節で言っている、天の国に入ることができる人とは、どのような意味なのでしょう？
彼らが入ることができないなら、父なる神の御心とは何でしょうか？

イエスは、ヨハネによる福音書 6 章 40 節で、「私の父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、私がその人を終わりの日に復活させることだからである」と言っています。

キリストの贖いの御業は、信じる者すべてにとって十分なものであることがお分かりでしょう。

では、教会に欠けているもの、不完全なものとは何でしょうか？
パウロは、29 節でヒントを出してくれています。「このために、私は労苦し」
「このため」とは何でしょうか？
「このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。それは、すべての人を、キリストにある完全な者として立たせるためです」ということです。
小さな問題は、私たちがキリストにあって持っている自由を完全には受け入れていない事なのです。救われている時でさえ、私たちのうちに福音が完全には働いていないのです。

一方で、欠けていることについての大きな問題は、実は教会の中にあるのではな

く、教会の外にあるために欠けているものなのです。

マタイによる福音書 28 章 19「だから、あなたがたは行って、すべての民を弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼（バプテスマ）を授け、20 あなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

このようにして、教会に人々が集まるようになります！なぜなら、教会の中にいなければ、服従を教えてもらうことはできないからです。教会の中にいることにより、神の御霊がその人の内にとどまり、教えやすくしてくださるのです。

もし、教会の中が愛で満ちていなければ、教会の外にいる人たちは、何を考えるでしょう。あなたは分かるでしょう。

もし私たちが教会を働く場所のようにしてしまうなら、様々なプログラム、活動、統計、お金、技術、食べ物や立派な建物を備えた世の中と変わらなくなってしまいます。

私たちが外の世界と異なることは、互いへの愛です。必要なのは、何よりも心を込めて働く人々です。心を込めなければ、意味がありません。

パウロは、彼に倣うように私たちに呼びかけています。今日の箇所について言うと、パウロは熱心なクリスチャンになること、つまり自分のやり方や賜物の点でパウロのようになるように語りかけています。

パウロがあなたにそのようにいうのは、パウロと同じようにあなたにも内側にキリストの御霊が働いているからです。なぜなら、あなたは信仰によってキリストの栄光を見たからです。

そうすれば、イエスに招かれているあなたも、他人を愛する際に辛いことがあっても喜びを得ることができます。なぜなら、あなたは事実イエスを愛し、その体である教会を愛しているからなのです。

イエスは、このように尋ねています。「私を愛していますか？それなら〇〇〇。」〇〇〇を埋めてみてください。

「私の教会を愛していますか？それなら〇〇〇」〇〇〇を埋めてみてください。

裁くことをやめ、愛し始めるとき、喜びが訪れるでしょう。

招き

イエスは言いました。*「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」*

イエス・キリストが命を捨てられたのは、あなたが人生の苦しみや困難から解放されるためです。そのために、あなたはいのちを得ることができ、いのちを更に豊かに保つことができます。

神の御子であるイエスを見つめ、十字架の栄光を見つめてください。死者の中からイエスがよみがえられたことを心の中で信じてください。そうすれば、自分の人生において神の御心を行うことができるようになります。愛である神、神の御霊によって、イエスのように愛する方法を学ぶことができるのです。

祈りましょう。

ジェシー・マーク・セザリオ
東京バプテスト教会
2024 年 6 月 29－30 日

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2724jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも
☆クラス 201
霊的成長について
9月22日（日）1:00pm - 5:00pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org